

2006年11月21日

2007年3月期 中間決算説明会

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨

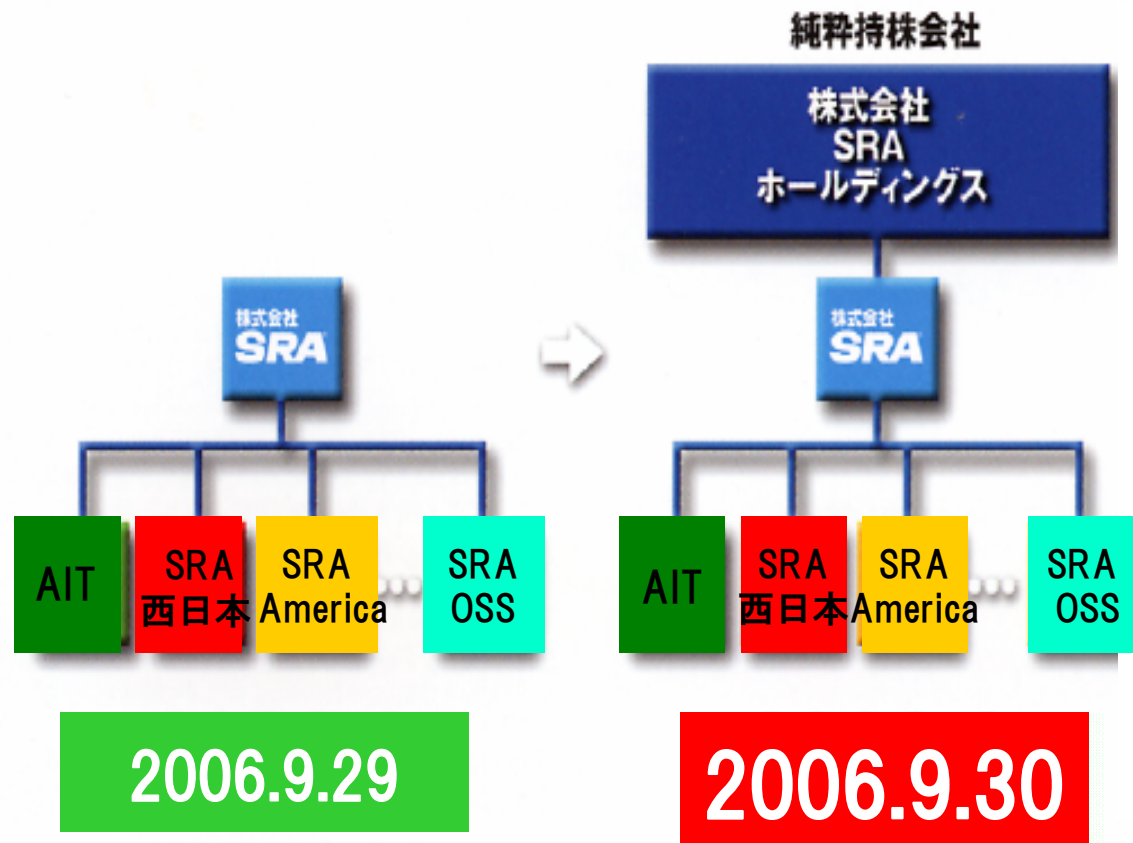
SRA Holdings, Inc.

SOFTWARE RESEARCH ASSOCIATES, Inc.
SOFTWARE SCIENCE, Inc.
SRA Nishi-Niken, Inc.
SRA TOSHOKU, INC.
SRA Key Technology Laboratory, Inc.
SRA Professional Service Co., Ltd.
Advanced Integration Technology (AIT), Inc.
GeoDist, Inc.
Affiliate ad company
SRA AMERICA, INC.
SRA (Europe) B.V.
SRA OSS, Inc.
SRA India Private Limited
InterTech Data Systems, Inc.
Dallas SRA Software Co., Ltd.
Boulder Research Center



SYNERGY
INNOVATION
GLOBAL REACH
CUTTING-EDGE TECHNOLOGY
EXPERIENCE

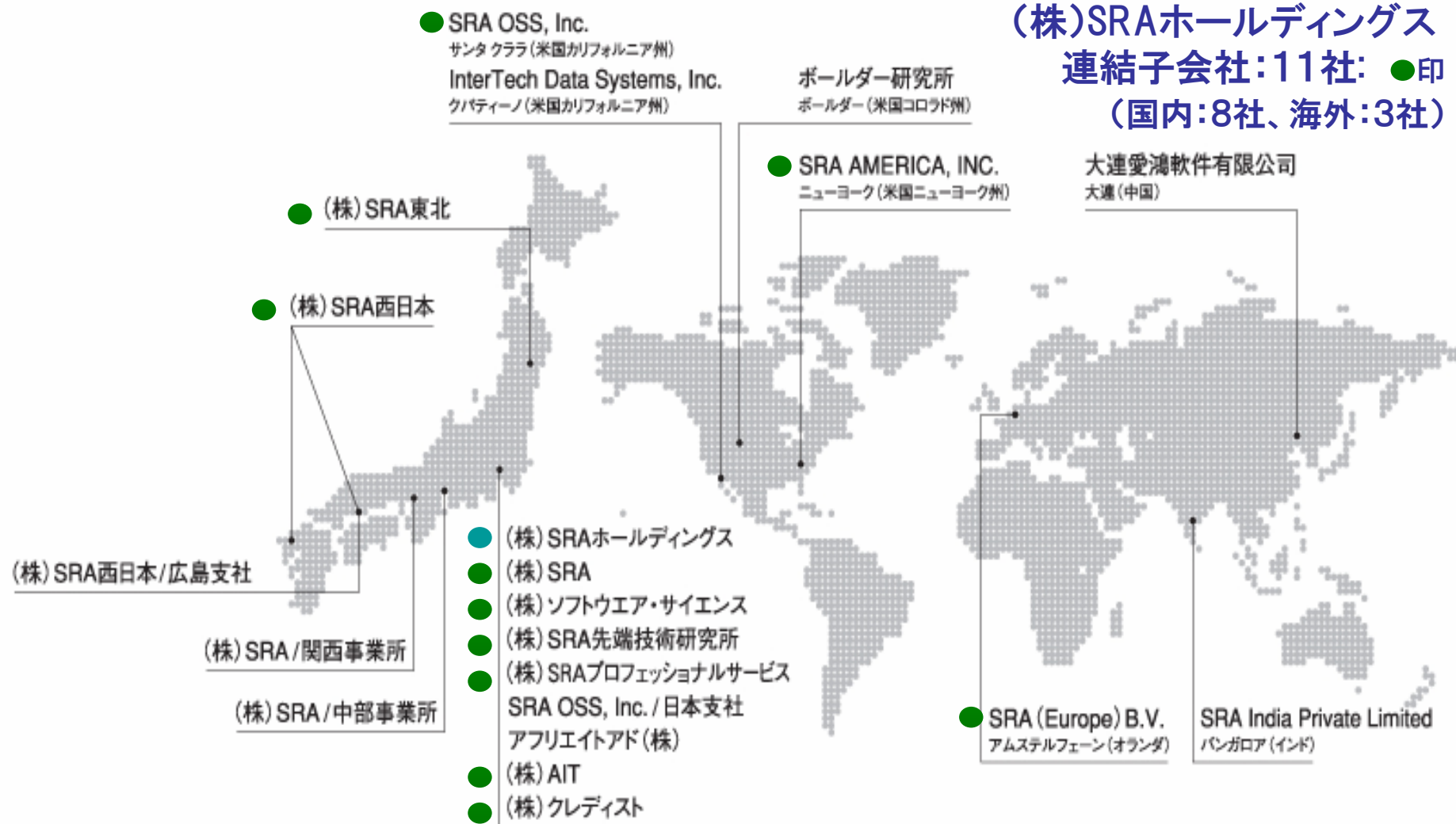
SRAホールディングス体制



＜機動的な動きが
取れる体制＞

SRAホールディングスグループ

(株)SRAホールディングス
 連結子会社:11社: ●印
 (国内:8社、海外:3社)



2007年3月期中間決算概要

<目次>

◎（株）SRAホールディングス 業績<連結>

◎中間期決算のポイント／業績分析

◎新しい「配当」の方針

◎今後の展開

SRAホールディングス 中間期業績（連結）

単位:百万円

	2003年9月期	2004年9月期	2005年9月期	2006年9月期
売上高	12,937	14,854	14,959	16,673
対前年伸び率	5.2%	14.8%	0.7%	11.5%
売上総利益	2,373	2,719	2,007	3,249
売上総利益率	18.3%	18.3%	13.4%	19.5%
営業利益	▲256	445	▲38	1,091
営業利益率	-	3.0%	-	6.5%
経常利益	▲239	455	▲38	1,136
経常利益率	-	3.1%	-	6.8%
当期純利益	▲195	1,473	▲91	1,210
1株当たり当期純利益	▲25.65円	193.42円	▲13.16円	87.44円
ROE	▲2.4%	16.4%	▲1.0%	11.8%

※2003年9月期～2005年9月期数値は、(株)SRA連結実績を記載。

＜参考＞SRAホールディングス 通期業績（連結） 単位：百万円

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期予想
売上高	30,381	34,259	34,145	37,000
対前年伸び率	4.7%	12.8%	▲0.3%	8.4%
売上総利益	5,768	6,148	5,804	-
売上総利益率	19.0%	17.9%	17.0%	-
営業利益	784	1,659	1,719	2,500
営業利益率	2.6%	4.8%	5.0%	6.8%
経常利益	810	1,626	1,762	2,500
経常利益率	2.7%	4.7%	5.2%	6.8%
当期純利益	628	1,056	933	2,040
1株当たり当期純利益	79.03円	136.96円	128.39円	147.40円
ROE	7.7%	12.3%	10.1%	19.1%
1株当たり配当金	15円	23円	25円	20円*

※2004年3月期～2006年3月期数値は、(株)SRA連結実績を記載。*2006年4月 株式分割実施(1対2)

参考：（株）SRA 単体業績

単位：百万円

		2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
売上高	中間期	8,383	9,279	9,558	10,469
	通 期	19,340	20,543	21,436	23,000
営業 利益	中間期	▲171	245	▲266	758
	通 期	456	915	917	1,600
経常 利益	中間期	▲150	279	▲235	796
	通 期	518	931	974	1,600
当期 純利益	中間期	▲98	1,241	▲160	1,080
	通 期	255	532	563	1,490

※2007年3月期通期は予想数値

参考：（株）SRA 子会社業績

単位：百万円

		2005年3月期		2006年3月期		2007年3月期
		中間期	通期	中間期	通期	中間期
A I T	売上高	3,564	8,931	3,263	7,186	3,321
	経常利益	120	412	162	357	205
ソフトウェア・サイエンス	売上高	993	2,135	861	2,056	976
	経常利益	23	80	12	145	63
S R A 西日本	売上高	434	1,094	496	1,120	561
	経常利益	▲3	74	40	128	68
S R A 東北	売上高	515	1,176	487	1,235	393
	経常利益	40	61	16	89	14
S R A アメリカ S R A ヨーロッパ	売上高	708	1,579	1,021	2,112	766
	経常利益	57	117	▲10	16	30
S R A O S S	売上高	-	-	-	-	333
	経常利益	-	-	-	-	4
その他の子会社	売上高	559	1,195	534	1,482	797
	経常利益	9	37	15	92	▲8
S R A 子会社合計	売上高	6,773	16,110	6,662	15,195	7,147
	経常利益	246	781	235	831	376

参考：（株）SRAホールディングス単体業績

単位：百万円

		2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
売上高	中間期	-	-	-	-
	通 期	-	-	-	640
営業 利益	中間期	-	-	-	▲15
	通 期	-	-	-	410
経常 利益	中間期	-	-	-	▲9
	通 期	-	-	-	410
当期 純利益	中間期	-	-	-	2
	通 期	-	-	-	405

※2007年3月期通期は予想数値

中間期決算のポイント（連結）

◎業 績

＜対前年比、当初計画でいずれも増＞

①売上高＝対前年*＋17.1億円／対当初計画＋6.7億円

②経常利益＝対前年*＋11.7億円／対当初計画＋5.9億円
（通期予想＋3億円）

③当期純利益＝対前年*＋13億円／対当初計画＋4.1億円
（通期予想＋1.9億円）

◎配 当

期末普通配当予想16円⇒20円（＋4円）

※当初計画=2006年5月15日発表業績予想

*印:前年同期(株)SRA連結との比較

業績分析（連結）

◎売上高： 166億73百万円／17億14百万円増（対前年＊）

＜売上増の主な要因＞

■システム開発の増＝製造業・流通業の受注が好調

■コンサル・サービスの増＝パッケージ販売が好調、
一部の子会社の機器販売が好調

◎経常利益：11億36百万円／11億74百万円増（対前年＊）

＜経常利益増の主な要因＞

■売上増に伴う粗利益の増

■販管費の抑制

＊印：前年同期（株）SRA連結との比較

業績分析（連結）

◎当期純利益：12億1千万円／13億1百万円増（対前年*）
＜当期純利益の主要因＞

■固定資産売却益 9億86百万円
（横浜・技術センター）

*印：前年同期（株）SRA連結との比較

参考：キャッシュ・フロー（連結）

	2006年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	583
キャッシュ・フローマージン（％）	3.5
投資活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	2,070
財務活動によるキャッシュ・フロー（百万円）	-221
現金及び現金同等物の増減額（百万円）	2,435
現金及び現金同等物の中間期末残高（百万円）	8,053

主な要因

- ◎営業活動によるキャッシュ・フロー：税金等調整前中間純利益 20億87百万円
 売上債権減少 8億86百万円
 棚卸資産増 7億45百万円
 法人税等支払 7億23百万円
- ◎投資活動によるキャッシュ・フロー：有形固定資産売却 21億68百万円
- ◎財務活動によるキャッシュ・フロー：配当金支払 1億72百万円

新しい「配当」の方針

◎2007年3月期 期末配当予想

普通配当: 16円⇒20円(+4円)

※2006年4月 株式分割実施(1対2)

◎配当性向

従来は、(株)SRA単体の配当性向30%を
利益配分を目処としていたが、
ホールディングス体制移行に伴い、
連結配当性向20%を利益配分を目処とする

今後の展開 ①足元を固める

◎低減した販管比率(投資等を除く)の維持・継続

2007年3月期中間期の販管比率＝13.0%

(※販管比率:前年同期実績* 13.7%)

◎プロジェクト管理徹底を図り、'05年度下期以降、

「不採算プロジェクト」発生なし

今後も(株)SRA品質管理本部を中心に、
グループ各社において、更なる管理徹底を図る

*印:前年同期(株)SRA連結との比較

今後の展開 ②布石を打つ：投資

◎OSSビジネス拡充

- ：OSSを最大限に活用したSOA開発基盤「ASIMA」※「ASIMA」：商標登録出願中
- ：OSS版アプリケーション開発・実行プラットフォーム「OpenVision」

◎自動車産業、組込系の拡大

- ：SRA/中部事業部に「自動車事業推進部」設置

◎その他

- ：①証券システム再利用
(システム再開発におけるマイグレーションサービス)
- ②海外拠点拡充
- ③セキュリティ分野への進出

今後の展開 ②布石を打つ：体制

◎ホールディングス体制への移行

- ① M&Aのための体制作り
- ②機動的な動きが取れる体制
- ③グループ再編

売上高推移（連結）

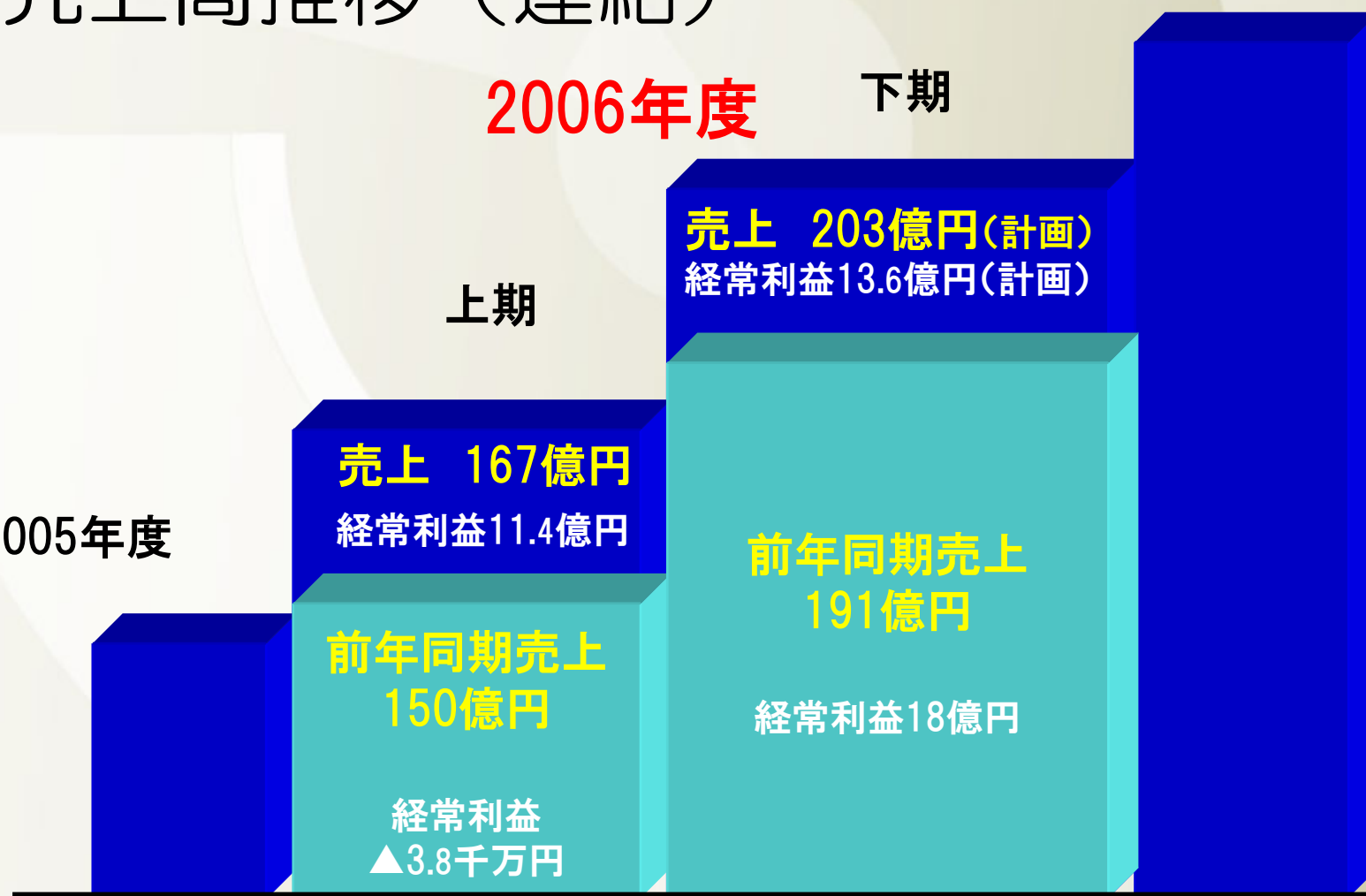
2007年度

2006年度

下期

上期

2005年度



中長期方向性（2005年度～2010年度）

